

# レンタカー 高級車参戦

## 「たまに乗るなら良い車」

自動車メーカーが高級車のレンタカー事業に乗りだしている

レンタカー料金と主な特徴と社名
<b>「BMW」</b>  6時間5500円～ (11月から8316円～) 2019年に500台体制に拡大 (ビー・エム・ダブリュー)
<b>「レクサス」</b>  6時間2万2140円～ 旧モデルプラン (1万5120円～)もある (トヨタ自動車)
<b>「アウディ」</b>  1時間1800円～ 担当者引き渡し、引き取り、 給油不要 (アウディ・ジャパン)
<b>「ジャガー」「ランドローバー」</b>  1時間4320円～ 新車購入すると レンタル料金が半額に (ジャガー・ランドローバー・ジャパン)

自動車メーカーが高級車のレンタカー事業に力を入れていく。都心部を中心に車を所有しない人が増え、「たまに借りるなら良い車に乗りたい」という需要が高まっているため。レンタカーの利用拡大は、伸び悩みが続く自動車販売をさらに下押ししかねないが、メーカーは、購入のきっかけになる」と期待する。レンタカー市場を安定した納入先として見込む

## メーカー「購入の契機に」

### ぜいたく満喫

8月上旬、東京・有楽町のレンタカー大手「タイムズカーレンタル」。独BMWのスポーツ用多目的車「X1」を借りた30代の男性会社員は「BMWなら買物の移動時間もドライブとして楽しめる」と話す。BMW日本法人は7月から、タイムズと組んで「X1」「X3」など約1700台のレンタルを始めた。10月未までの特別料金は、6時間で税込み5500円からとした。タイムズによると、「車を必要な時に借りて、乗っている時間は良い車を満喫したい人が増えている」（担当者）と、2019年までに計5000台に増やす計画だ。英ジャガー・ランドローバーも4月から、タイムズで高級車「ジャガー」など7車種を貸し出している。

レンタカー業でも高級車を扱う動きが出ている。「I S レンタリース」(名古屋市中)は17年10月から、米テスラのモデルX100Dやトヨタ自動車の燃料電池車「ミライ」を導入した。

## 所有から共有へ

自動車販売が頭打ちとなるなか、レンタカーや複数人で自動車を共有する「カーシェアリング」の利用が拡大している。レンタカーの保有台数は13年末の約61万台から17年末は約80万台と3割以上増え、このうち高級車は約5000台から約9000台と約1.8倍に増えた。

メーカーにとって、レンタカーやカーシェアリングの普及は新車販売の減少につながる恐れもある。だが4月からグループ企業の「トヨタレンタリース店」を通して高級車ブランド「レクサス」の貸し出しを始めたトヨタ自動車の広報

担当者は「実際に運転してもらったことで購入につながる可能性もある」と期待する。

自動車産業の動向に詳しい日本政策投資銀行の梶野治氏は「所有から共有という消費者の価値観の変化への対応は避けられず、将来への布石を打っている」と話す。メーカーは、レンタカーやカーシェアが今後、大きな納入先になると見込

み、車を所有しない人から収益を得るビジネスモデルを模索しているというわけだ。

先進技術を活用する狙いもある。独アウディの日本法人は6月から、12車種の最新モデルを、東京都心部など決められた地区であればどこでも、スマートフォンアプリを通して借りたり返したりできるレンタカー事業を始めている。